

## 【第34回対策本部会議】8月3日

医療統括監／7月20日以降、48例感染者が出て、5月16日までの陽性者数47例を超えた。最近の特徴は、20歳代以下が4割を切って、30歳以上が6割を超えた。

### <九州の感染者発生状況>

直近1週間のもの。バーやコスプレ店といった密集を伴う店でクラスターが発生。長崎では、学校関係者がクラスターの発生したスナックに行き、高校で広がった。福岡と沖縄の数が目立つが、熊本や宮崎も増えている。大分が一番少なく、佐賀、長崎の順になっている。

### <佐賀県の新型コロナウイルス感染の傾向>

75例目以降の発生状況の図。

集団Aが接待を伴う飲食店関係。スタッフ3人、客5人、計8人。関連した濃厚接触者も見つかった事例。

集団Bは、ある飲食店で食事をした76例目をきっかけに、関係者の間で感染が広がっている事例。

そのほか、単発の発生もあり、濃厚接触者を調べ、適切に検査を終わらせている。

昨日、速報で話した福岡の陽性者3名に接触した佐賀在住者がいる。

知事／佐賀県の方法が「マンツーマンディフェンス」だとする。先ほどの説明で、最後の福岡の陽性3人と一緒に会食した事例は、感染経路がたどりやすい。しかし、一緒に宿泊となると、陽性者からさらに濃厚接触者を検査して、陽性者が出る。我々がやっている検査は、陽性者の関係者が陰性になり、封じ込められている。集団の場合は、客や従業員に多くの接点があり、誰が誰にうつしたのが分からず、感染経路がわからない。1つなら、保健所で聴取して感染経路がたどりやすい。

さらに困難なのは、またそれぞれに濃厚接触者がいる。我々は念のため検査もし、聞き取りながら抑え込んでいく。だから、集団AもBも、さらに聞いて、さらに聞いてと封じ込め作業をやっていく。

保健所の職員、保健師さんが聞き取り、なかなか答えてもらえないところを答えてもらって抑え込んでいる。本当によく頑張っている。衛生薬業センターも同じく頑張っている。そうして、できているのがマンツーマンディフェンスです。

多発すると、一つひとつ聞き出していくのが大変。陽性者が発生するたびに、先を追うことになる。これができないと、都市部のようなゾーンディフェンスになり、手に負えなくなる。市中感染が広がり、全部又は該当エリアの休業要請、時間短縮の措置をとらざるを得ない。

佐賀県は、何とか追えている。しかし、これ以上新しいケースが増えると、マンツーマンディフェンスが難しくなる。第2期になった当初、20代前後を中心に福岡のクラブのケースが頻発していた。それが少なくなり、若者の協力に感謝する。また、福岡で休業の対応をしてもらい、お礼申し上げる。

最近は、接待を伴う飲食店、「横などについて接待を行う店」で急増している。

陽性者やクラスターの当該飲食店の協力により、マンツーマンディフェンスは成り立つ。濃厚接触者の確認、来店者が保健所へ相談できるよう案内し、広がりを抑えることができている。改めて、ご協力に感謝する。

現在、幅広くPCR検査を行い、それぞれの出口を止め、ぎりぎり抑え込んでいる。九州各県は、感染者が急

増。あれでは、とてもじゃないが囲い込めない。そうならないために、今、みんなで努力していきたい。

この状況を踏まえて、

最近の県内の感染事例については、「接待を伴う飲食店（横などについて接待を行う店）」を媒体としたケースが急増している状況です。県民の皆さん、そういった店については、お店側も利用者側もお互いに最大限の警戒をお願いします。

マスク着用、手洗い、3密を避けるなど、基本的な感染予防の徹底について再度ご確認をお願いします。また、食事などマスクを外さざるを得ない場合や県外の方々との接触がある場合は、特に感染予防を意識した行動をお願いします。